

地域説明会における質疑応答等一覧

日時 令和7年7月4日（金）、18時30分から

会場 橋野ふれあいセンター

参加者 11人

No.	質問・意見等	回答
1	遡って基本方針を再度検討することはあるのか。	先立って議会や各地区での説明会等で説明し、意見を聞いた上で策定したものであり、基本方針の見直しは考えていない。後期計画の前に計画の見直しはあり得ると思うが、一旦は方針の通りで進めたい。
2	一定規模がなぜ必要なのか理解できない。今既にある小規模校では学べないのか。先生は工夫していろんなことをされているし、栗林小では地域の方が多く関わって、子どもたちは多様な考えに触れているのではないかと思う。 職員の加配とかがあっても現状としてできていない。傾向として大きな規模のほうが難しいことが多く、小規模の方が丁寧にみてもらっている感覚がある。そのあたりは今の仕組みでできていないので、酷くなるんじゃないかという懸念がある。	小規模校、大規模校、それぞれメリット・デメリットがある中で、釜石としてどういう方向でいくべきかと検討した。例えばグループ学習や体育、音楽などで、人数が少ないとできないことが様々出てくるため、一定の規模、ある程度グループ活動ができる人数が必要と判断した。 当然、統合するしないにかかわらず、一人ひとりの子どもを大事にしていかなければならないということは十分留意しなければならない。もしその辺が不十分だということであれば、それを受け止めながら協議を進めていく必要があると感じている。
3	(意見) 基本方針が出た時点で知ったので、方針について意見を言えなかった点は残念ではあるが、計画を進めていく段階で配慮いただければすごくありがたい。	
4	令和9年度には鶴住居小に(統合)ということで、あと1年半しかないが、この間で具体的にどんな準備をしていくのか。	・統合準備委員会を立ち上げ、実際に鶴住居小と栗林小の皆さんで話し合いを進めることになる。具体的には、ジャージをどうするか、スクールバスをどう運行するか、PTAの組織をどうするかといったところ。その他、学校行事や地域との関わりも出てくるので、そういう点についても具体的に話をしていく形になると思う。 ・各小中学校のPTA総会で基本方針を説明した時には、放課後の子どもの居場所や、各地区での伝統行事、伝統芸能の発表の場について等の話があった。統合後の活動についても地域の皆さんと一緒に話し合っていきたいと思っている。
5	子どもの交流等も、この1年半でやっていくような形か。	・栗林小学校で実施していただいたアンケートの中で、配慮してほしいという事項で多かった回答が、「子どもたちの人間関係」。統合までの間に、両校での交流活動はもちろん進めていきたい。 ・統合した場合の先生の配置についても、栗林小の先生の何人かは鶴住居小に配置するといったことも配慮したい。 ・統合した後も、子どもたちの相談体制等の部分もできるだけ丁寧に進めていきたい。
6	(意見) 統合した場合、「適正化をしました、はい終わり」ではなく、いろんな問題が出てくると思うので、子どものアフターケアを市も一緒にしっかりやってもらいたいというのが一番である。	

7	<p>不登校で学校に行けないとか、越境して他の学校に通えるような小規模特任校制度もあったりするのですが、釜石市らしい教育ができる場所を一つ作ってもいいのではないかなと思っています。栗林小は皆が大分関わっている学校で、こういう学校で子どもたちが育てば、釜石が好きになって地域を大切にすだろうと感じる。関わっていない学校で育て、学力の話だけで本当にそれでいいのか。市として、どういう地域とか町を残すのか、そこも含めて地域の議論の場があればよかったなと思います。配慮が必要な人たちが必要にしている場所がある。</p>	<p>栗林地域、橋野地域の皆さんは子どもたちに関わり、支えてくれたのはその通りだと思う。我々も当然、学校があればよいという思いもある。学校があれば学校を中心として、保護者も関わりやすいのはその通りだと思うが、学校がなくなっても、子どもたちが地域の中で生活するという点は変わらないと考えている。学校がなくなったとしても、地域の中で子どもたちをどう育てていくか、どう子どもたちに地域が関わっていったらいいのか、そういうところは引き続き考えていきたい。協力をお願いしたい。</p>
8	<p>学校は地域の核なので皆が関われるが、(統合して)地域はただ生活するだけで、学校に行き、学童で過ごし、夜寝に帰るだけとなってしまった時に、関わるができるかというのはもうちょっと議論していただきたい。安易に住んでいけばいいとか、それができるでしょと言う話ではない。もちろん地域側の問題でもあるし、両方あると思うが、これでいいでしょうと言った地域側も、今後地域の中で考えていく必要があるし、居場所がなくなったことに対して、市の責任としてコミュニティをどう支援していくのか両面必要と思う。</p>	<p>保護者の方にアンケートを実施したり声を聞いた中で、今子どもを学校に入れている保護者、そしてこれから入れる未就学児の保護者の方々は、ある程度の規模のある学校で教育を受けさせたいという思いがあるのも事実。実際にお子さんがある保護者、そしてこれから入れる保護者、地域の方々の思いをどうしていくのかというのは、大きなところだと認識している。いずれ子どもたちが社会の中で、ある程度の規模の中で人間関係等色々な経験を積ませたいと考えている保護者もいる。そのあたりをどうしていったらいいのかが1つの課題ではあると認識している。</p>
9	<p>一つ一つの学校に歴史がある。賞状や子どもたちが作った作品があると思うが、その保管場所、置き場所については考えているか。</p>	<p>移設場所はこれからの協議となるが、ふれあいセンターを利用し、壁に掛けるものであれば壁等に移設できると、普段利用する方も、久しぶりにセンターに来た方も見ることができるのかなと思っています。また、玄関のあたりも片付けて、現在校舎にある思い出の品等を移設できればいいのかなと考えている。</p>
10	<p>子どもたちのふれあい・交流と統合準備委員会はどちらが先か。統合準備委員会でやりましょうとなってからふれあいを始めては遅いのではないか。</p>	<p>内々ではあるが鶴住居小と栗林小の校長先生には、子どもたちの交流を計画的にやってほしいという話はしている。交流の部分は、学校を中心として計画してもらおう形になる。 統合準備委員会は、地域から出された要望を教育委員会と協議をしたり、また、鶴住居小と栗林小の中で協議をするという形になると思う。</p>
11	<p>統合準備委員会はいつ設置するのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画ができれば早々に設置したい。市議会、教育委員会でも説明し、これでいきたいと思います。 ・今月中に市内9か所で説明会、意見交換会を実施し、8月中旬にパブリックコメントで市民の皆様から意見をいただく。8月上旬に市議会の全員協議会で計画案を説明し、それを踏まえて早ければ9月の教育委員会での議決を経て、計画としては一旦成立ということ考えている。
12	<p>(計画策定してから)そこから1年以内に統合という感じになると思うが、令和9年度の統合を目指すということで、あとは話し合いに任せて、という所も出てくるという事か。</p>	<p>今までの学校やPTAとの協議を踏まえて令和9年度からとしているが、何か大きな問題が出てくるとしても進まないというようなことが出てくれば、その時は協議をしながら進めていきたい。</p>

13	<p>計画案の5ページにある(4)の注意事項の「ア 学校の統合に向けて合意を得られた学校から」とは、どこで誰が決めるのか。</p>	<p>学校ごとに統合準備委員会を立ち上げ、準備委員会と教育委員会との間の話し合いで、準備委員会がこれ(統合)でいきましょう、と判断した時点で合意と考えている。</p>
14	<p>交流が始まる時、子どもたちも心の準備が必要だと思う。(統合時期が)ここだと思っていたのに計画が延びて1年先となったりすると、子どもたちもすごく戸惑うのではないかと思った。実際に話し合いをしてどうなっていくか分からないが、子どもたちに(統合時期を)伝えた時点で、その後の変更はないようにしたほうが子どもたちにとっていいと思う。</p>	<p>子どもたちの気持ちに揺さぶりの少ないような形にしていきたい。</p>
15	<p>ぜひ、子どもたちも適正化についてどう思っているのか話し合える場を作ってほしい。勝手に大人が進めているのがすごく違和感があるので、当事者の子どもたちが関わると非常にいいのではないかと思う。</p>	<p>中学生に対しては、説明やアンケートを実施し、また小野市長の講話により、市の現状や考え方を伝えた上で、計画を進めていることを話しているが、ぜひ小学生に対しても伝える機会、意見をいただく機会を設けたい。</p>

日時 令和7年7月8日（火）、18時30分から

会場 唐丹小中学校 会議室

参加者 16人

No.	質問・意見等	回答
1	(意見) 統合には基本的に賛成。ただ、特色のある学校とか小規模校の優位性を出すというのは、教育委員会と学校が本気になって取り組むべき。意欲を持った先生をどう育てるかなどを検討していかなければ駄目だと思う。	
2	中学校の統合を2段階で考えているが、一気に2校にもっていく方法は考えられないのか。どちらが子どもたちにとってメリットがあるのか。	保護者からも様々な意見が出ているが、教育委員会としては、複式学級の解消、免許を持っている先生から指導を受けることができるというところを重視した。
3	今はこういう案で動きたいという計画案であって、令和11年に1回統合して、そのあと令和14年度に2回目の統合となっているが、もしかしたら令和14年度に1回で統合というように変更になる可能性もあるのか。	唐丹小中の保護者へのアンケートでは「できるだけ早く」という意見、「令和11年度に」という意見が多いが、「令和14年度に」という意見の割合も高かった。この地域説明会や8月の市内全体でのパブリックコメントで意見をいただき、唐丹地区の場合、令和11年度に中学校を統合したほうがいいのか、それとも14年度に複数校で一気に統合したほうがいいのかということを見極めたい。これはあくまでも今時点の案であるので、そういうご理解でお願いしたい。
4	もし統合した場合、制服や運動着などは新たに買い替えるのか、それとも統合前の学校で使っているものをそのまま使用できるのか、そういうところは考えているか。	基本的には新入学生は新しい学校の制服で揃えるが、2、3年生については移行期間ということで、統合前の学校の制服等を使っていくことも考えている。まだ決定ではないが、負担をできるだけ軽減をするような形が望ましいと考えている。
5	統合した後の校舎の利用方法はどのようなことを考えているか。	栗林小の例だと、体育館はスポ少等で利用しており、校庭もナイター照明があるので屋外スポーツで利用されている。そういった社会スポーツの活動の場としての利用がまず1つ。 あとは、小学校校舎の2階以上が栗橋地区の拠点避難所になっていて、近隣だともう一か所、基幹農業集落センターがあるが、そのエリアで適正な規模の拠点所として間に合うのかどうかを見極めながら、防災の拠点機能としても見極めたい。まずはそういったところで考えていきたい。
6	統合することによって、スクールバスも財政的な面でかなり検討していかなければならないことが出てくると思う。	小学校の前期計画では現状のスクールバスの台数で運行できるとみている。 中学校が統合されると、前もって台数を考えていかなければならない。今、スクールバス購入には、国の補助金があるので、それを活用しながら対応していきたい。
7	クラブ活動について、例えば、スクールバスとかで通わなければならなくなった時は、活動時間が制限されると、子どもたちの実力、クラブのチーム力に影響すると思うが、その点に関してどのように考えているか。	部活動が終わってからスクールバスで家に着くまでに時間が掛かる部分はあるが、部活動に制限がかかることは想定していない。一方、今、部活動の地域移行の議論が進んでいるので、今後は部活動の活動場所や参加の形態等、色々なパターンが出てくると思う。部活動の形が今後変わっていくということもイメージしていただきながら、部活動の活動の意義も大切なのでそういったところもサポートしていきたい。

<p>8</p>	<p>適正化には賛同する反面、世代間交流であったり、小学校は存続するけれども、いずれ統合されるとなれば、いろいろ包括的なケアの部分では課題が上がってくるのかなと思った。</p> <p>建物の方も同時進行で、廃校後は何になるよとか、そういうところがあると地域の安心材料になっていくと感じる。</p> <p>教育とは論点がずれてしまうが、唐丹地区には保健の事業所がない。高齢者、子どもたちが守られるのであれば、校舎に活動拠点を置いてもらえないかという思いもある。厚労省でやっている廃校プロジェクトを見ると、他の地域では、地域が過疎化してきても、色んな工夫をして何か光が見える活動をしていたので、高齢、福祉、教育の分野を分けるのではなく切り口が1つになってくれたらもっと発信できるものがあるのかなと思っている。検討をお願いしたい。</p>	<p>統廃合という動きになれば、準備委員会を立ち上げて、まず1つは子どもたちのために何ができるのかを考えたい。</p> <p>統合後の校舎の利用については、防災やまちづくりの面からということで、市役所全体で学校統合をどう捉え、跡地・校舎をどう利用していったらいいか、釜石市、地域にとってどういう在り方がいいのかを検討する組織を立ち上げ、話し合いをする場を設けている。実際に民間企業からも校舎自体を利用したいといった話も聞こえている。そういったところもトータルで考えながら、公共施設をどう利用していったらいいのか、まちづくりのため、市のためにどういう在り方がいいのかを一緒に考えていきたい。</p>
<p>9</p>	<p>部活動について。統合と絡めて部活動の地域移行をどう考えるのか。地域移行に関して、事業の受け入れにお金がかかる。それに対して補助金や支援などをどうするか。まだ結論は出ないと思うが、学校統合と子どもたちの部活動、スポーツ、文化の地域移行について、合わせて考えて進めていってほしい。郷土芸能もやり方によってはできる。</p>	<p>今の計画では令和14年度には釜石中と釜石東中の2校体制になり、その中でどう部活動をしていくかというのも大きな課題である。そうすると1つの学校には通う生徒が多くなるので、その中で地域移行については釜石東中と連携しながら運営・受け皿を確保できないか検討していく必要があるのだろうと思っている。担当部署とも相談していきたい。</p>

日時 令和7年7月9日（水）、18時30分から
会場 中妻地区生活応援センター 大集会室

参加者 19人

No.	質問・意見等	回答
1	唐丹小学校を存続する理由は。	地域の核になる学校ということで、中学校も小学校も統合して地域から学校自体がなくなると、その地域の地域性の維持も難しくなる。唐丹地区の方々と話をする中で、中学校はこの計画通り統合するが、小学校は小規模校で地域と一体となって学校運営してきたという中で、地域の合意を得て、小学校は残していくという判断に至った。
2	複式学級を解消するというのであれば、段階的にやるのではなく、前倒して、一気に統合できないのか。	統合の場合は、地域や学校区を大きく再編すると通学の問題が出る。地域の伝統芸能や伝統活動が小学校を舞台で活動してきていることもあり、一気にまとめてしまうと地域との分断が大きすぎるということもある。 学校の建物の規模も関係あるが、これまで近隣の小学校同士で統合を進めてきた。今回もその方向性で統合の段階を踏んで適正化を進めるという判断に至った。
3	釜石市では小中一貫教育は難しいのではないかと。	想定しているのは釜石東中と鶴住居小。地形上、鳥谷坂トンネルを越えて北側の地区が、ある程度一体的な地域性があるので、釜石東中と鶴住居小で一貫校という考え方。逆に、国道283号沿いで一貫校というのは、本計画の中では想定していない。
4	複式の解消というところで、2学級以上あると、人間関係だったり、働く人からしても1人で学年の作業を全てやるよりは分担してできるのでいい面もある。単級にこだわるところの背景や、PTA等とはどんな話があったのか知りたい。	1学年2学級となると、ほとんど全部に近い小学校を統合しないとなかなか生み出せない。通学もかなり遠距離、それこそ2.6km以上の通学時間で、バスに乗っている時間も長時間になってくる。近隣の小学校同士の統合で生み出せるのは1学年1学級だが、方針のとおり、まずは複式の解消をはかりたいという考えである。
5	双葉小と釜石小の移転後の学校の場所が決まっていない背景を教えてください。	今時点では、釜石小と双葉小に「このタイミングで統合を計画している」ということは、これから初めて説明していくということで、これからの話し合いで決めていきたい。
6	通学条件のところ、もしも釜石小学校の校舎になった場合、2.6km以上だとバスになるということだが、実際にどのあたりから双葉小学区の子どもたちはバスになるのか教えてください。	仮に、釜石小と双葉小を統合して釜石小の校舎を使用した場合、2.6kmは大体、上中島のマルイチのある辺りになる。実際には家の場所で通学ルートがいろいろとあると思うので、一概にそこは言えないが、大体の目安としてはその辺りとなる。
7	（双葉小と釜石小が統合して釜石小の校舎を使う場合、）新町はスクールバス区域になると思うが、間違いなく小佐野小に行ったほうが近い。その場合は、越境は認められるのか。	一旦は学区を設定し、学区内で通学をお願いしたいと考えているが、色んな要素でどうしても統合後の学校に通うのは難しいということであれば、隣の学校に学区外通学ということの相談に乗りたいと考えている。
8	適正化推進計画案の2ページの「Ⅱ 学校の適正規模・適正配置の具体的計画」の「(2)通学区域の変更 ア 統合後の学校よりも、通学区域が隣接する学校に通学の方が望ましい地域がある場合」というのは、徒歩通学という意味での望ましさは入らないのか。それとも今回に関しては統合だけなので通学区域は変わらないのか。	統合後の学校よりも通学区域が近いほうが良いという場合も想定されるので、そこは地域としてまとまってそちらの学校に行くというのはあるかと思っている。その辺についても、皆さんと話し合い、合意の上で進めていく必要があるのと思っている。

9	<p>(釜石小は)客観的に考えても津波の浸水区域である。また崖崩れがあつて避難所として使えないときもあった。スクールバスで通学するにしても山道を上がつて丘の上の学校に行くとか、そういった意味で言えば、津波浸水区域外である上中島以西地区の安全性も大事な検討要素になるのではないかと思う。</p>	<p>地震・津波だけの視点だと市内の小学校は浸水区域外に集約してしまうということになり、復興・まちづくりの地域、これから町をどう作っていくかという議論とかみ合わない部分が出てくる。</p> <p>実際、釜石中学校が6メートルの浸水区域に入ってしまったが、それに対して地域と学校が一体になって避難訓練、避難の在り方を議論してきた。</p> <p>釜石小、双葉小の統合を想定して、それぞれに統合準備委員会を立ち上げ、PTAや地域の方々をメンバーに含め議論をしていきたい。</p>
---	--	---

日時 令和7年7月10日（木）、18時30分から

会場 栗林小学校 視聴覚室

参加者 23人

No.	質問・意見等	回答
1	廃校になった学校の実態を見るとすごく残念な結果になっている。地域の人たちがどれだけ残念に思っているのか。地元と相談しながら活用していきたいと言うが、ここは避難所という位置づけにもなっている。先生方はいなくても、地域として活用できるものが必要なのではないかと思う。そういった意味でこれから統合に向けたスケジュールもあるでしょうが、そういったところでのフォローをお願いしたい。	市内でも何校か統廃合をして残っている学校がある。基本的に何の活用方針もなければ解体して更地となるが、栗林小の体育館は地震・津波の際の拠点避難所、洪水・土砂気象災害の場合は校舎の2階以上が地域の安心・安全の防災の拠点となっている。市長部局も入れた部局横断的な検討委員会を立ち上げたので、検討していきたい。 あとは、統廃合が進んでいけば、栗林小以外にも市内でもだんだん使わなくなってくる公共施設も出てくる。市役所の庁舎も含め、市内全体で公共施設をどう位置付け、どう利活用していくのかというの、地域の皆様と話し合っていきたい。
2	児童生徒数のシミュレーションはわかったが、先生方の数はどのように統廃合によって変わってくるのか。市の教育はどのように変わってくるのか。そういったところで、総合的に釜石のプラスになるところを聞かせていただきたい。	教職員の配置は学級数や児童生徒数で決まる。例えば、栗林小が鶴住居小に統合したとして学級数が増えれば、それによって先生が多くなるということも考えられる。今のところ児童生徒と学級数によって決まってくるということ。 統合した時に、栗林小の児童のことをよく知っている先生の何人かに鶴住居小に異動してもらい、配置したいと考えている。また、県では学校統合した時に加配で本来の定員の先生の配置よりも1人とか多く配置することもあるので、県の教育委員会と相談していく。 また、市全体として学校数が減るので、それに伴って必要な教員数も減ってくるということはあると思う。
3	令和9年に栗林小と鶴住居小の統合が計画されているが、令和7年、8年の2年間の中で、鶴住居小と栗林小の交流事業等が計画されているのであれば教えていただきたい。	・交流事業はこれからになる。栗林小、鶴住居小の校長先生には、統合するということももちろんあるが、それがなくても栗林小の人数が少ないのはその通りなので、積極的に交流を進めてほしいということは話している。 ・学年交流やいろんな行事での交流、そういったところは率先して推進していく形になるのかなと考えている。
4	令和12年に小中一貫校という計画で、まずは最初に小学校の統合、それから準備して3年かけて小中一貫校にしていくという計画のようだが、その中で、小学校統合も踏まえてずっと続けていくような形なのか、統合が終わってから、小中一貫校のほうに切り替えてやっていくのか、その辺を確認したい。	まず統合を先に進めたい。統合の準備にも時間を取られると思う。他の地域の小中一貫の取組を見ても、3年ぐらいの準備期間がかかっているようなので3年を見ているところ。今の計画では、9年度から3年間かけて準備しながら、12年度からという計画でいくということ。
5	(意見) 子どもが子どもを知るという部分がある。統合時期を見据えた形で子どもたちの交流をやっていただきたい。そこから友達付き合いが進んでいくと思うので、学校、教育委員会も大変だとは思いますが、子どもたちのことを大事にしていくんだということを強調して進めていただきたい。	

6	<p>(意見) 鶴住居小学校の百何人いる集団の中に、20人ちょっとの子どもたちが移動する形になるので、統合する前から交流する機会をいっぱい設けてあげたほうが、子どもたちもすんなり進学・進級できるのではないかなと思う。そこは、PTAも協力しながら、地域で取り組んでいければいいのかなと思う。</p>	<p>毎年、鶴住居小と釜石東中で総合防災訓練を実施している。多分、中学生であれば、例えば栗林小学校出身のお兄さんやお姉さんもいると思うので、校舎は違えども、隣の校舎で、知り合いのお兄さんやお姉さんも一緒に勉強しているという、ちょっとした安心感も得られるのかなと思う。あとは、勉強、学習以外のそういった交流事業で、友達同士の結びつきが芽生えればなと思う。そういったことも考えながら、触れ合いの場を見出していきたい。</p>
7	<p>中学校の部活に関して。釜石東中には希望する部活が無く、釜石中ならあるという場合、せめて部活動だけでも選択できるようにできないのかなという思いがある。せつかく小学校のうちにスポ少で頑張ってきたも、自分が行く中学校に部活がなくて諦めざるを得ないというのはかわいそうという思いが親としてある。部活動を自由に選択できる方法を検討していただければ。</p>	<p>中学校で活動がきちんと推進できるように環境を整えていく方向で今、検討・準備しているところ。今後、部活動の地域移行という形もあり、子どもたちが様々な活動を、様々な場所で、様々な方の協力を得ながら取り組んでいくという方向に向かっており、その環境づくりを教育委員会と関係課と連携しながら進めている。例えば、釜石東中にはないけれども、他の場所に行って活動するというようなことについては、可能な限り、活動ができるような環境を整えていきたいと考えている。</p>
8	<p>資料の最後のページに児童生徒の推移が掲載されているが、釜石東中が令和17年から令和18年にかけて10名も増えていますが、ほかの学校はすべて減少傾向にある中で釜石東中だけ増えている。単純に考えれば、鶴住居小と栗林小と連動しているのではと思う、それ以外に何か理由があって増えているのか。</p>	<p>過去数年にわたって各学校ごとに減少率を計算した上で、出生数から算出した数字である。鶴住居地区は、昨年と一昨年に出生数が例年に比べて多かったため、その数字に引っ張られて増えている。</p>
9	<p>正式に令和9年度に栗林小学校が統合するという案が示されたと解釈してよいか。 9年度という話は、いつ議会にかけたりとか、正式に決まってこれで動いていくというスケジュールを簡単でいいので示してもらいたい。</p>	<p>今月から地域説明会をしている。8月上旬に市議会の全員協議会で全議員に対して説明する。併せて8月1日から1か月、パブリックコメントということで、計画自体に対する意見、質問等を受け付ける。それらを1か月ぐらいで取りまとめ、修正した計画を最終的には教育委員会議での議決を経た段階で成案となる。成案になったら、改めて広報やホームページ等で皆様にお知らせしたい。成案になった時点で、統合の対象校それぞれに統合準備委員会を立ち上げて、具体的な準備について話し合っていきたい。</p>
10	<p>統合準備委員会(仮称)とあるが、栗林小の場合は、体育館は防災上使うという話があったので、市役所として利活用方法が決まったら示していただき、統合と決まったら、跡地利用について、地区の方やいろいろな方々と意見交換する場を作っていただいて、町内会も一緒にやりたいと思うので、なるべくいろんな機会を作ってもらいたい。</p>	<p>ぜひ、地域の皆様と意見交換をしながら、どういった活用が望ましいのかを話し合いたい。統廃合すれば校舎の維持管理していた人が単純にいなくなる。施設の維持そのものもだが、利活用となると管理運営の部分が、人・ものを含めて必要になってくるというので、ぜひ、その辺りも市役所の立場を示し、地域の皆様と話し合いを重ねながら見い出していきたい。</p>

日時 令和7年7月11日（金）、18時から

会場 平田小学校 体育館

参加者 12人

No.	質問・意見等	回答
1	説明会にはもっと保護者の人たちがたくさん集まるべきだと思う。少し教育委員会の宣伝が足りないのではないかな。	この4月に、PTA総会で基本方針の中身については説明している。計画案については、8月にパブリックコメントも実施する。保護者の皆様が手にとって見られるような状況にすることや、対面で説明する機会についても検討している。
2	学校統合は良いが、先生のことを考えてほしい。統合して学校が減ったら先生は減らすのか。日本がよくなるには教育が大事。良い先生を入れてほしい。一度先生数を減らすと、元に戻すのは大変だ。	教育の充実を図る方針で進めたい。先生については、地元出身が少ないので、地元の先生を育てていきたい。統合する両校の子どもたちにとって良い先生の配置を考えたい。具体的には、白山小の先生を平田小に移動してもらうなどを行いたい。先生数は減っても、質は確保したい。
3	唐丹小はずっと残るのか。唐丹小と平田小の統合も考えられると思うが、いかがかな。	基本方針では中学校区の一つは学校を残すとしており、また唐丹地域の方々との話し合いでも唐丹小は残すという意見が出され、合意を得たところであるので、唐丹小は複式だが残す計画としている。ただ、後期計画前の見直しで、唐丹小の在り方については計画ありきではなく、実情に応じたあり方について保護者の皆さんと意見交換、議論をしたい。
4	統合は仕方ないと思うが、総合計画に「地域で子どもたちを育む」というような文言が入っていたはず。大平中の子が釜石中に行ったら地域との関わりはどの程度になるのか心配。学校統合と地域づくりを一緒に考えて、交流の場だとか活動できる場といったものを作りつつ、統合を進めてほしい。	地区の行事や伝統芸能を繋いで担ってきているのが小中学生だったりする。学校は統合しても子どもたちはその地域に住んでおり、残る。そういった活動の場としての学校の在り方、地域との繋がりについて、意見交換してより良い形で残していきたい。
5	バス通学は時間が決まっているので、小学校の友達と遊ぶ時間が制約されるということがある。可能であれば、放課後、学校が終わってスクールバスで帰るまで、少し遊ぶ場所、時間を作ってもらえる等の体制を考えてもらいたい。統合自体は人数が多い方がいいと思うので賛成。早めにやった方がいい。ただ、通学と友達とのふれあいを考えると、下校時間を何パターンか選べれば集団生活の面でもよいと思う。	帰りの時間の運行は柔軟に検討しているところ。保護者と話し合いながら対応したい。
6	統合には賛成。早く統合していいと思う。統合しても先生数を減らさず、両校の先生の人数はそのまま統合した学校に置くことはできないのか。それができれば統合がメリットになると思うのだが。	学級数、生徒数に応じて配置される教員の定数が決められている。ただし統合した際には統合してから何年かは県で加配してもらえる。統合した人数で先生数は決まるが、加配により子どもたちのケアに当たれる先生が配置できることもある。
7	双葉小、釜石小を統合した場合、どちらの校舎を使うか決まっているのか。双葉小の方が校庭も広く、津波の浸水区域からも外れている。今の釜石小だと高台にあるので、車のことを考えるとちょっと厳しいのではと感じる。スクールバスの送迎があると思うので、多少遠くなくても双葉小の方がいいのかなと思うところがある。	双葉小と釜石小の統合については今回初めて統合の計画案を始めて示すことになるため、どちらかがありきではなく、両方対等に、両にらみでという形になっている。

8	<p>中学校から部活が無くなると聞いているが、どうなのか。</p>	<p>部活がなくなるという事ではないが、部活がだんだん地域主体となった活動に切り替わっていくと思ってもらいたい。さしあたって国は、土日・休日は学校が主体ではなく地域と連携して活動を行っていく体制づくりを進める、としている。現状はなかなか苦慮している所はあるが、そういった方向となる。しばらくは平日は中学校で担っていく部分が大きいと思っている。</p>
9	<p>部活の地域移行が進んでいった場合、学校から地域の活動場所への送迎は検討しているか。</p>	<p>地域移行しても、子どもたちの活動を充実させるためにできる事は何かを継続して検討しなければならないと思っている。どのくらいの規模なのか、こういった時間なのか等、まだ見通しが持てず明確には回答できないが、子どもたちをサポートすることを考えて取り組んでいきたい。</p>
10	<p>統合の話で、当事者である子どもの意見交換はあるのか。中学生くらいなら考えられると思うので、地域づくりだったり、自分たちの地域を考えるいい機会だと思うので、大人だけで決めないで子どもたちの意見も吸い上げて、子どもたちにも考えてもらう機会があればいいのかなと思う。</p>	<p>昨年度、中学生への市長講話の中で学校統合の必要性を話したり、教育委員会でも現状を説明しアンケートを実施したりした。市の現状を踏まえれば統合は必要なんだと考えていることがアンケートで分かった。統合すれば団体競技ができるようになる、色んな行事もできるといった前向きな声があった一方、人間関係、友達関係が不安といった声も把握しているので、教育委員会ではそういった配慮の部分はサポートしていきたい。</p>

日時 令和7年7月15日（火）、18時30分から

会場 甲子小学校 体育館

参加者 12人

No.	質問・意見等	回答
1	複式学級や、免許外の先生の授業に関して。正規の場合と比較して学力の差、生活面での影響について、何か体系的な情報、統計等はあるのか。	<ul style="list-style-type: none">・古い資料ではあるが、全国学力学習状況調査の結果を見ると、複式学級と単式の子たちを比べると複式の子の方が若干成績が上回っている。また、単式学級の学校より、複式学級がある学校の方が同時に正答率が高いという状況。・複式が悪いという認識はしていないが、人数が少ないと一人の点数が大きく影響するので、単純に比較はできないと思っている。
2	残す計画の学校の中で、物理的に近日中に校舎の手入れを必要とする学校は想定しているか。	<p>釜石中学校がH17年に建築されており今年で20年経過する。表立ってひどい痛みはないが、雨漏りや建具関係の老朽化が進んでいる状況。計画ではR14に統合するが、現時点では具体的な施設の改修計画はない。R14の前までに、ある程度の改修をしなければならないと考えている。</p> <p>他の学校だと平田小はS61年でかなり古い校舎だが、直近だと昨年度トイレを改修した。平田小も残る学校なので、雨漏りの修繕や外壁の改修をして、使用について問題ないような工事をしていきたい。</p>
3	統合になる場合、指定カバン、制服、運動着はすぐに一斉に変えることになるのか。何年かは甲子中なら甲子中の制服、ジャージを使用して、次の年度に入学していく子から揃えることになるのか。	<p>教委としては、なるべく負担が無いようにしたいと考えている。1年生は揃えることができるが、2、3年生は前年までに所属していた学校のものを卒業するまで継続して使ってもよい方向で進められるといいと思うが、皆さんにも相談し、話し合っ</p> <p>て決めていければいいと思う。</p>
4	計画案だと先に唐丹中だけ統合になるが、R11から13年度に関しては、釜石中は学区の飛び地が発生すると考えてよろしいか。	<p>唐丹中については、唐丹の保護者に統合先として大平中と釜石中のどちらが望ましいかアンケートを実施した結果、釜石中を希望する回答が多かったの</p> <p>でこういう案になった。またスクールバスで唐丹中から大平中、釜石中へのそれぞれの時間は、高規格道路を使うとほぼ差はない。計画案では学区は飛び地となるが、保護者の意見を優先して釜石中と統合という事</p> <p>にしている。</p>
5	唐丹の校舎は震災後の建設で築13年ほどなのに中学校が抜けてしまうということになると思うが、唐丹の校舎は新しいので、平田小の児童数が多く、唐丹小の校舎を活用するのは人数的には無理があるのかなと思うが、唐丹小中の校舎を使うのはやはり無理なのか。	<ul style="list-style-type: none">・白山小と平田小の統合は、大平中学校区での統合という事で白山小は平田小に、と考えている。基本方針で中学校区に一つは学校を残すという事<p>にしているので、唐丹小は唐丹に、平田小は平田に残すこととしたい。</p>・平田小の方が児童数が多い。唐丹に通うにしろスクールバスの負担が大きくなる。また、唐丹小の教室の広さが平田小に比べて狭いため、他の学校から唐丹小に、というのは現実的ではない。
6	スクールバスに乗るのにお金は掛かるのか。掛からないという事でいいか。路線バスに乗っている生徒がいるが、その子たちは定期券を買っているのか、それともスクールバスといった感じでお金は掛からないのか。	<ul style="list-style-type: none">・小学生で概ね2.6km以上、中学生で概ね4.0km以上の通学距離の場合はスクールバスという事でお金は掛からないが、それに満たない方が公共交通バスを使う場合、常に利用する方は自己負担で定期券を<p>買うことになる。</p>・スクールバスは無料、公共交通を使う場合は定期券等の自己負担はある。

7	<p>スクールバスに乗り遅れた場合は実費で帰るという事になるのか。スクールバスも何本もあるという事ではないと思うので、部活の帰り等、ちょっとの差で乗り損ねてしまったりしたら実費で帰るという事か。</p>	<p>そうなるが、中学校の例では、中総体前の部延長がある時はスクールバスを2回運行したりという配慮はしている。それでも自主練や何らかの都合でスクールバスの時間が合わない時は親御さんに迎えに来ていただくか、自分で帰っていただくことになる。</p>
8	<p>統合したらスクールバスの本数を増やすという事でいいか。こっち（甲子）側から行く人数を考えてもらって、増えるのか。</p>	<p>柔軟に対応したい。今よりは本数を増やすとか、台数を増やすとかできると思う。</p>

日時 令和7年7月23日（水）、18時30分から

会場 白山小学校 2階 少人数教室

参加者 21人

No.	質問・意見等	回答
1	白山小の統合案はその通りと思っている。統合先が平田小というのは、大平に住む人間としては妥当だと思う。ただ、基本的に白山小の統合先は平田小だとしても、松原、嬉石地区の皆さんが釜石小に通わせたいと希望する場合、柔軟に対応してほしい。	まずは学校ごとに学区は設けたい。もし都合により統合先の学校に通うのは難しいといった場合には教育委員会で相談に乗らせていただき、対応したい。
2	白山小は複式で、修学旅行、宿泊研修は5、6年生が合同で実施。R9年度の統合で、同じ学校にいながら修学旅行に行く子と行かない子に別れるようなことにならない様に配慮する必要があるのでは、R10年度の統合でもいいのではなか。	白山小、平田小の両校長先生と相談して、児童に負担がないよう対応していきたい。
3	通学の安全性が気になる。スクールバスはあっても、エリアが広くなり、学年で帰宅時間がバラバラ。中学校になるとさらに部活等で移動のタイミングが色々出る。釜石中の生徒がバス停にたくさん並んでいるのも見かけるが、県交通バスの利用は考えているのか。	スクールバスの帰りの時間は、学校、保護者と話をしながら柔軟に対応したい。通学距離は、今は「概ね2.6km以上」としているが、2.6kmで切っているわけではない。道路状況等を考慮して、スクールバスを出すことができればいい。大平地区であれば公共交通機関の利用も含めて検討していければ。
4	大平町から平田小まで歩いていけないわけではないが、途中、熊の出没もあるので心配。通学の部分の方向性について教えてほしい。	地域の皆さんと協力しながら、安全確保に努めたい。また、保護者の皆さんにもご協力いただき、緊急時は送迎への対応もお願いしたい。
5	白山小は高台にあるが、平田小は低い土地にある。津波対応をどう考えているか。避難場所は設定しているのか。	平田小地区の拠点避難場所の機能は、洪水土砂の場合は平田小学校、地震津波の場合の拠点避難所は祥雲支援学校となっており、棲み分けしている。登下校の際に地震津波が発生という事になれば、スクールバスの運行管理を含めて対応を指導していきたい。 平田小の緊急避難場所は、裏山の「君が洞地区」の高台に避難する経路を確定しており、毎年避難訓練を実施している。 釜石市内では、大人も含めて地震津波の時は高台に避難するという事を訓練して身につける必要があると考えている。
6	平田小は結構古い校舎だと思うが、統合して人数が増えるが問題ないか。	校舎の耐震は問題ないが、築約40年と古いのはその通り。ただし、各教室にはエアコンを設置し、昨年度にトイレは全て洋式化し、体育館の照明もLED化を済ませている。ただ、床、壁については手付かずの状況。屋根、外壁もいずれ修繕が必要と考えている。
7	(意見) 白山小の地域から学校がなくなるのは寂しいが、言えるのは学校は地域の為ではなく子どもたちのためにあるということ。子どもたちが育つために、環境を整備することは大事。大人のわがままは子どもたちのためにならない。計画は、地域の住民としてはやむなしと考える。地域としては、やれることをやっていきたい。	

8	白山小が平田小と統合した場合、学童が遠くなるので、送迎に時間がかかる。開設時間を広めにしてほしい。特に長期休み期間等は朝早い時間から対応してもらいたい。そういったことも検討してほしい。	運営主体の事業所と検討を進めており、この夏休みから時間を延長してもらうということにしている。今後統合となった場合、開所、閉所時間について事業者と協議し、利用しやすいように設定したい。
9	移動する側の子どもたちの不安が多いと思う。計画的な交流とあるが、具体的には何を行うのか。	統合する各校の校長先生には、統合に向けて交流を進めるよう働きかけをしている。また、統合先の学校に、統合前の学校の職員を何名か配置したい。子どもたちを良く知っている先生を配置することで、子どもたちの安心につなげたい。
10	複式学級がある学校に対し、これまでどういった対応してきたのか。	複式を有する学校には、学校の訪問事業をしており、指導主事と先生と一緒に授業づくりについて模索してきた。昨年度もそのような研修会を実施した学校もある。 震災後、複式による加配教員があった。それにより、実際は複式だが単式で授業が行えるようになってきた。
11	学校の環境整備はどう考えているのか。再編した学校は充実させてほしい。	子どもたちの教育環境を向上させることが使命と考えており、計画的に整備していきたい。タブレット端末も来年度に更新される。Wi-Fi環境も改善するよう取り組みたい。
12	先生の数について、加配が簡単に取れる状況ではないが、統合することで先生が何人になるか分かるように、表に数を入れたほうがよいのでは。それにより統合で加配があつて先生が何人になると分かるのでは。	検討して調整します。
13	ジャージは統合先の平田小に合わせるのか。金銭的負担の心配がある。	なるべく家庭に負担が発生しないようにしたい。新一年生は新しく揃えることになるが、2年生以上はこれまで着ていた運動着をそのまま利用することもよいと考えるが、地域や保護者の皆様と協議しながら決定したい。
14	令和8年度に白山小に入学予定の1年生は、1年間だけ少ない人数で過ごし、9年度には20数名の大人数の中に入ることになる。令和9年度に統合するのであれば、最初から平田小に学区外で通学することはできるのか。	白山小があるうちは白山小に通うことが基本となると考えているが、そういった意見があったという事で検討させていただきたい。 学区外通学を認める条件があるので、それも踏まえて学区外に該当するのか相談しながら対応させていただきたい。
15	釜石中と唐丹中の統合となったのはどのような声があったからか。大平中と唐丹中の統合ではだめなのか。	唐丹のPTAの皆さんに意向を確認した結果、大方の意見として釜石中を選択する声が多かった。R14年度に大平中も釜石中に統合することになるなら、一度大平中と統合して釜石中に統合と2回統合する負担を考えると、最初から釜石中という意見が大勢を占めていたという事になる。
16	平田小の入口は通学路としては狭い。津波避難路としては不適ではないか。	現在、設計段階だが運動公園のクラブハウスに向かうための歩道整備の話が出ている。そういった物理的な避難経路の整備も含め、皆さんで話し合いながら子どもたちの安全確保に努めていきたい。
17	今回、白山小は平田小と令和9年度に統合という案が示されたが、具体的にいつ決まるのか。来年から統合と言われても困るので。	地域説明会の後、8月にパブリックコメントの実施、議会へ説明し、意見を徴収して、それ踏まえて10月くらいを目途に計画を策定して、計画に沿って具体的に動いていきたいと考えている。

18	<p>学区の区分けだが、白山小は平田小と釜石小の間にあるので、釜石小と平田小のどちらかを選ぶことができるのか。兄弟で別の学校に通う等も考えられるか。</p>	<p>基本は平田小と決めているが、どうしても親御さんの都合等で釜石小へ通わなければならないといった場合は学区外通学という事で協議したい。その場合、兄弟は同じ学校に通うことが原則となる。</p> <p>通学に関しては、基本は平田小になるため都合により釜石小に通うとなった場合、スクールバスを出すことは考えていないので、保護者の責任で対応をお願いしたい。</p>
19	<p>できれば家が近い釜石小に通わせたいが、白山小の統合先はまとめて平田小というのは理解した。家庭や兄弟の状況等で、その時になってみないと判断できないと思う。学区外通学について相談したいが、どこに相談すればよいか。</p>	<p>就学については教育委員会・学校教育課にご相談いただきたい。</p>

日時 令和7年7月25日（金）、18時30分から

会場 鵜住居地区生活応援センター

参加者 13人

No.	質問・意見等	回答
1	通学が心配。川目地区で、通学距離の多少で徒歩とスクールバスが分かれている。市に要望したが断られた。その点配慮してほしい。	隣り合う家なのに、そこを境にバスか徒歩かを分けることはない。距離はおおよそという目安であり、市全体の均衡をみながら様々な要件で判断している。
2	小中一貫教育のメリット、デメリットを把握していたら教えてほしい。	同じ施設で一貫教育を行うことで横のつながりが生まれる。また縦のつながりもすぐできるので交流しやすいと聞く。また行事、委員会活動等で異学年交流ができることで、下級生は上級生へのあこがれや目標を持つ気持ちが育まれると聞いている。
3	釜石東中が50周年を迎えた。小中一貫校となれば、周年はリセットされるのか。	小中はそれぞれ独立しているので、そのまま存続する。総称として一貫校の名で呼ぶことはあるが、正式には鵜住居小と釜石東中のままとなる。
4	今はクマが出たりして危ない。特に低学年の児童は配慮してもらいたい。	
5	大きい中学校と小さな中学校に別れることには不安がある。小さい学校が一貫校になったとしても人数は少ないので部活が心配。	部活はこれまで学校単位だったが、今は地域移行を進めるという事で体制等に配慮
6	部活動が地域移行した場合、時間的に送迎が難しいと思われる。活動場所までスクールバスで送迎してくれるといった事はあるか。学校規模の大小で、勉強も部活も差が出る。小中一貫校は心配だ。色々に対応してもらわなければ鵜住居に住む人がいなくなる。	移動についてはこちらとしても引き続き検討していかなければと考えている。頂いた意見は部活動に限らず検討していきたい。

日時 令和7年8月6日（水）、18時30分から

会場 小佐野コミュニティ会館

参加者 12人

No.	質問・意見等	回答
1	計画案2ページ、通学区域の変更とあるが、いつから行うのか。	先行して通学区域だけ変更するという事ではなく、学校統合と足並みをそろえて実施していく。
2	基本方針から、答申を受けて変更や削除した部分はあるか。	基本方針に沿った計画案であるため、基本的には推進計画案は基本方針に一致している。方針から変更された部分はない。
3	釜石小、双葉小の統合が後期計画期間なのはなぜか。両校合わせて100人以下になる。前倒しできないのか。	保護者や地域と協議を重ね、合意が得られれば前倒しでの実施も検討したい。
4	釜石小、双葉小のどちらの校舎を使うのか決めたほうがいいのか。ないか。（校舎の新しさ、津波浸水区域等を考慮して）	計画が成案となる時には、どちらか明記する形にするかもしれない。検討する。
5	小規模校のメリット、デメリットについて詳しく聞きたい。	デメリットは、多様な考え方にふれることや同学年で切磋琢磨する環境を作りにくい、音楽や体育で学習活動が制限される、複式学級の指導に掛かる先生の負担が大きいなど。 メリットは、一人ひとりに先生方の指導が行き届きやすい、勉強の用具類が行き届きやすい、異学年交流がしやすいといったものがある。
6	不登校の対応は小規模校の方がメリットがあると思う。不登校が増えている中、そういったことも検討したか。	人数が少ないからと言って不登校が少ないという事ではない。小規模校は不登校の子は少ないというイメージはあるが、不登校の発生率でみれば人数の多少で変わりはない。小さい規模の学校でも不登校の子はいる。不登校は市全体の問題として考えていかなければならないと考えている。
7	不登校児童の教育環境の整備が行き届いていないと思う。そういった子のケアが足りないと思うので、要望としてお伝えしたい。	不登校の対策は充実していくべき課題であると捉えている。中学校に学校教育支援員を配置し不登校の子供の支援を実施している。なかなか学校にいけない子どもに対しては、学校通級の支援など、力を入れていきたい。
8	昔の統合では、地域住民が反対してもPTAが賛成して統合が進むパターンだった。いまはどういった状況なのか。	複式学級がある学校の保護者、未就学児の皆さんの意見としては統合に反対する意見はなく、必要だと間挙げている方が多い。市内全域でも、必要、どちらかといえば必要という回答が75%くらいあったので、概ね統合には賛成する意見が多数だと認識している。
9	小中一貫教育について。計画は鶴住居地区だけで行われるようだが、もし本当に良いものであれば、釜中とその学区とかでも施設分離型でやった方がいいのではないか。他の地区は従来型の教育というのは違和感がある。	釜石中は統合で規模が確保できるが、東中は単独だと人数が少ない。そのため小中一貫をすることで規模を確保したい。それでデメリットの解消が図られると考える。釜中での小中一貫だと、甲子小や平田小は距離が遠く、先生たちの移動等を考えるとデメリットになる。東中と鶴住居小は一体型の校舎というメリットがある。 これまでも市では小中連携は進めてきたところがあるが、小中一環にすることでより濃い連携ができることに期待している。
10	双葉小の校舎は新しく、開放感があって良いのだが、雨漏りが発生している。体育館、プールは古く、老朽化が進んでいる。統合を検討するにあたって、どうするのか。	学校統合も見据えながら、他の学校を含め、優先順位を付けて修繕を進めていく。 プール、体育館については現状のまま使うことになる。

11	先生方が大変。先生も適正配置が必要だと思うが、現状で先生は足りているのか。	先生の配置は学級数で決まる。県教委で決めるものであるが、統合があれば加配が見込めるので、県には要望していきたい。
12	ICTを活用して、とあるが、具体的には。	一人一台端末を既に導入し、学びのツールとして活用している。授業や遠隔地とのオンライン等でも活用できる。ICT環境の充実を図る事にしているが、タブレットも来年度更新されるので環境は良くなると思う。 一方、国では「オンライン」に加え「リアル」な、対面での学びも求めているところ。それぞれの良さを考えながら学びが充実するように考えていきたい。
13	スクールバスについて。現状何台で運行しているのか。統合すれば何台増えるのか、またそのコストはどれくらいか。	11台保有し、9台で回している。 前期計画の小学校の統合では、現状の保有台数で対応できる見込みだが、その後の中学校の統合となり、全てスクールバスで対応するとなると3,4台購入する必要がある。 そういったこともあるので、県交通の他、JRや三鉄の利用も一つの手段として検討していきたい。
14	遠いところで、スクールバスの出発時間から学校に着くまでどれくらいかかるのか。	どの地区からでも1時間以内で通うことができる。一番遠くても45分くらいである。 実際に車で走ってみたが、大石から釜石中でも40分くらいで着く。ただ、スクールバスだと駐車場所もあるので時間は変わる可能性があるが、通学時間の基準には収まる見込みである。
15	小中一貫校は、校長先生は一人なのか二人なのか。	当市が目指す小中一貫校は、基本的に校長先生は小学校、中学校で一人ずつとなるが、一人という選択肢もある。紫波の一貫校では校長が一人体制となっている。県との協議によって一人にするという選択もある。

日時 令和7年8月23日（土）、14時から
会場 イオンタウン釜石 イオンタウンホール

参加者 26人

No.	質問・意見等	回答
1	出生数の減少が進み、これまでも学校を維持してきたのが不思議なくらい。しっかりと進めていただきたい。	令和6年の出生者数が109人。もう100人を切るのではないかという中で、何とか子どもたちの学びの場を維持していきたいと考えている。
2	跡地利用が全くなっていない。跡地は釜石にとっても貴重な土地のはず。企業誘致等にも活用できれば、人口増に繋がるかもしれない。	地域で施設をどのように生かしていくか、釜石内の公共施設の在り方を含めて市内全体で適正なありかたを考えていきたい。
3	釜石小のこたばの教室は設備が充実している。その存続を希望するので、釜石小の存続を望む。	設備が整っているのは承知している。例えば統合して双葉小学校の校舎を使うとなった場合でも、「幼児こたばの教室」は今の釜石小の施設を使うという考え方もある。小学校の「こたばの教室」は巡回指導が中心なので、別の学校に移っても実施できるという考えもあるので、今後検討していきたい。
4	鶴住居小と栗林小の統合後の小中一貫校だが、統合と年度が違うのはなぜか。もっと早く一貫校にしても良いのではないか。	他校の事例を見ても、小中一貫教育を万全の体制で始めるには時間がかかる。もし準備が早く整えば、前倒しで実施することもあり得る。
5	統合前提ではないという事で始まった記憶がある。適正化は釜石市の独自性を打ち出すチャンスと考える。新しい教育を打ち出すことで人口が増えるかもしれない。この計画は独自性少ない。他の自治体でも当てはまるような内容。無難な着地に見える。	釜石市の場合東日本大震災も経験して、防災教育を中心とした取組として活動を続けてきた。いじめのない自分・友達との関係、そういったものを育てて活かしていくという部分は釜石独自の取組だと考えている。
6	計画されている統合は全て対等合併か。唐丹中と釜石中の統合、その後の甲子中、大平中の統合とあるが、どういう考えなのか。	唐丹中と釜石中は対等とは考えていない。その後の統合は対等と考えている。
7	R9の統合に間に合うか。もう少し余裕を持って進めてもいいのではないか。	どうしても無理な状況や、解決できない課題等があれば先に延びる可能性はある。今のところの案ということ。
8	(意見) 統合より閉校の方が大変である。	
9	この統合はメリットがあるものだと思うが、自分の子が入学するころ、教育に希望が持てなければ転出も考える。計画がポジティブなものとして伝わる説明をしてほしい。	教育には諸課題がある。不登校やいじめもそうだが、教育委員会も真摯に向き合いたい。学校の魅力化にもきちんと力を注いでいきたい。
10	大人数のメリットが分からないので共有してほしい。	人数が一定程度いる中での活動を考えると、授業の中ではグループで意見交換したり、様々な活動を共同で行うこともある。体育、スポーツではある程度人数が必要な競技もあるので、そういったところにも取り組める。 児童会活動や生徒会活動にしても、多くの子どもたちと意見を交わす、意見をもらう、あとは、合意形成していくことが社会に出るための子どもたちに必要な資質能力ということになるので、一定程度の人数がいることで、そういったところも充実が図れるということが考えられる。

11	<p>小規模校出身だが、小中が一緒に良かったことしか思いつかない。当事者のヒアリングはしたのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・検討委員会や計画策定委員会の委員の中には、先生方、当事者となったPTAの方にも参加していただいて意見はいろいろといただいている。複式学級のある学校に出向いて、実際に授業の様子を見て、先生方からの意見も聞いた。もちろん小規模校の良さもあるが、困ったところ、大変で負担だという意見も両方あると聞いている。 ・小規模校や複式の経験のある高校生たちに、当時、実際にどうだったか、小規模校や複式を経験して今どう思うかとか、アンケートを取った。小規模校で仲間の関係が濃密になったという子どももいれば、大人数の中でいろんなことをやったほうがよかったという子と様々で、それぞれの子どもの捉え方なのかなと感じている。
12	<p>平田小は津波浸水区域だからという理由で反対意見も出ている。</p>	<p>白山小の保護者の方には、1人で通学するのではなくて、スクールバスで通学すれば何かあった時にスクールバスで高台に避難できるということ、平田小学校で避難訓練をやっていることも含めて説明し、ご理解いただいたと考えている。</p>
13	<p>例えば、大平中で小中一貫、甲子小中の一貫といった意見は出ていないのか。別の統合について検討はしてきたのか。</p>	<p>例えば平田小と大平中でどうかといったときに、教室数が足りないということがあある。あとは、小中が一緒になれば普通教室の他に特別支援学級の教室も必要。それから、美術室や音楽室などの特別教室も人数が多ければ1つというわけにはいかないの、それを考えると難しいと考える。甲子小中についても同様で、既存の校舎を使うということにしているの、教室や学校の設備を考えたときに厳しいと考えている。</p>
14	<p>少人数の学校が学力が低いということもない。少人数の学校が悪いという事は一切ない。統合が数字合わせに見えるので、そう見えないような計画にしてほしい。</p>	<p>複式でも、規模が大きい学校でもそれぞれ教育は一生懸命やっている。ただ、メリット・デメリットは両方ある。私たちの考えでは、ある程度の規模のほうがより良いのではないかとということで、そちらを選択したということ。決して複式が悪いなどそういう発想ではない。</p>
15	<p>一回建てた計画だからそれで進めるという事ではなく、この計画を立てるにあたり持っていた思いも引き継がれるような体制にしてほしい。その時その時の最善を尽くしてほしい。</p>	<p>前期・後期の計画の見直しも、前期で小学校の複式を解消し、中学校の大きな統合を見据えながら、中間年度で唐丹小学校の在り方を考えていきたい。交流授業の在り方は、唐丹小学校でどのように活かしていけるのかという視点も大事だと思っている。この計画期間の枠にとらわれないように考えるということは、見出ししていけるかを含めて、今後の体制づくりに反映したいと思う。</p>
16	<p>少子化が進み、統合が進むのも当然かなと思う。各地域で、学校が中心で行ってきたことがなくなると、地域が萎んでしまう。そういったことは色んなところで見られている。そうじゃなくても、町内会活動が薄れてきている。担い手が少なくなっている。そういう状況が続くと思うが、そういったことを含めながら適正化を考えていただきたい。</p>	<p>まちづくりの部分と学校は密接に関わっている。学校運営協議会でも地域の町内会長や地域会議の議長にも参加いただいて、学校をより良くするために地域の皆さんの助言、関わりをいただいていた。この推進計画を進める中でも、その関係性ができるだけ損なわれないように、どうやったら維持していけるのかということ、教育委員会だけではなく、市長部局とも一緒に考えてやっていきたいと考えており、そういう部分は大事にしていきたい。</p>

17	<p>自分の子が小規模校で育ったが、少ない人数の中で立ち位置が決まっていた。大人数がいれば他の仲間と組める。人数が多いことによって仲間が作れるし、居場所が作れると実感した。人数が多いほうが学校として良いのではないか。</p>	<p>小規模校とそれ以外の学校に、それぞれメリット・デメリットはある。現状で統合をしたとしても、文部科学省の指針からいうと、残念ながら小規模校のままではある。</p> <p>ただ、釜石市で生み出す学びの場で、釜石の子どもたちが釜石らしさを身に付けて社会に出られるように、学校教育の在り方を皆さんと一緒に協力しながら作り上げていきたい。</p>
----	--	---